

現地の幼稚園

新米ママへのメッセージ

子どもは日々成長し、気がついたら幼稚園に入園する年になっています。その時にあわせて幼稚園を探すことのないよう、日ごろから情報交換をして、子どもにあった幼稚園を選びたいですね。

ベルギーの幼稚園は義務教育ではありませんが、小学校に入学する前の準備期間として、団体生活に慣れるためのいいシステムです。政府も通園を奨励しており、私立幼稚園も含め学費は無料です。幼稚園により給食費や文房具費などは請求されます。但し、インターナショナルスクールやリセフランセなど、ベルギーの教育システムに則らない学校での学費は有料です。

通常幼稚園では、団体生活に慣れ、時間を決めて遊び、工作、運動などを行います。その中でもこんな要素を取り入れているという教育法での幼稚園があります。

モンテッソーリ教育法

イタリアの精神医者であったマリア・モンテッソーリ (Maria Montessori 1870~1952) が、知的障害児の知的水準を上げる感覚教育法を生み出し、児童教育学者となった。彼女の教育理念を実施する学校は、「子どもの家」と名づけられている。自立した子どもを育てるため、以下の要素を満たした環境で教育している。

1. 子どもが自由に教具を選べる。
2. 意識をかき立てる面白い教具がある。
3. 社会性、協調性を促すために異年齢混合クラスを編成するのが望ましい。
4. 教師は子どもの自己形成を援助する。

ドクロリー教育法

ベルギーの心理学者オヴィッド・ドクロリー (Ovide Decroly 1871~1932) が唱えた「école ouverte 生活による生活のための学校」は、精神的にも肉体的にもグローバルに子どもを教育するシステム。子どもたちの能動性を重視し、関心・欲求に沿った生活題材を観察し、読書などによって得た諸観念を連合せ、こうして得られたものを表現、発表する学習段階をつくり、子どもの要求に基づく教育を展開する。



シュタイナー教育法

オーストリアの神秘主義哲学者ルドルフ・シュタイナー (Rudolf Steiner 1861~1925) が提唱した、ヴァルドルフ教育学と呼ばれる教育法。彼の考えでは、人間は以下の4つの構成体で形作られているという。

1. 0歳児の物質体-体そのもの。生命の誕生。
2. 7歳ごろからの生命体-成長や繁殖を司る、上に伸びる力。
3. 14歳ごろの感情体-快・不快の感情を持つ。
4. 21歳ごろの自我-考えたり、話す。「私」という意識を持つ。そして、7年ごとに節目が来て、意志、感情、思考を順次取り入れ、バランスの取れた人が「自由を得た人」と呼ばれると述べている。



フレネ教育法

フランスの教育者セレスタン・フレネ (Célestin Freinet 1886~1966) が、伝統的な教師の権威主義による教育に異議を唱え、子どもたちが自発的にグループ活動を行い人間性を養う「積極方式」を生み出した。子どもたちは、校内新聞の編集・発行を通して自主性を学び、販売して得た利益でさらに教育を拡大していく方針をとった。また、個人の能力を重視しているため、個別のレベルでの学習を行い、一人一人がマイペースで学習している。

幼稚園は、自宅から歩いて行ける場所があると親子共に便利ですが、あえて交通機関を使って通園すると、行き帰り時に現地の方との触れ合いや街の様子を観察でき、日常生活に幅ができて、生活が楽しくなりそうです。子どもを通して友だちの輪は広がり、親同士の交流も深まります。ブリュッセルには外国人が多く住んでいます。いろいろな国籍の人と友だちになって、持ち寄りパーティーのお茶会や食事会を開催すると、ベルギーだけでなく世界を一度に垣間見ることが出来ますね。多いにこのチャンスを利用してください。

引越しセミナー

参加無料(要予約)

詳細は
セミナーで
ご案内!

日時 **3.10(木) 10時~12時(昼食付)**

会場 **弊社事務所**

Avenue Louise 248, 1000 Bruxelles
※日程・場所は変更になる場合がございます

選べるセミナー特典!

かわいいキャラクターキッズ
BOXをご用意!



日本トランスユーロ
SAKAI EUROPE

☎02-733-2101
http://transeuro.jp

RESTAURANT INADA

フランス料理レストラン



ランチ €29
ディナーコース €54

料理教室参加者募集中!
下記までお気軽にお問い合わせください♪
inadasaburo@gmail.com

Tel : 02 538 01 13

定休日 : 土曜日/日曜日/月曜日/祭日

Rue de la Source 73

1060 Bruxelles